

毎年、いま頃の季節になると、各PC雑誌は「COMDEX Fall」の特集記事一色になってしまう。したがって、ここであらためてCOMDEXの報告をする必要もないので、「変なもの」が好きな筆者は、会場で見かけた「変な製品・小物」を中心にご紹介する。大手メーカーのブースの概要については、他の特集記事をご参照いただきたい。

なお、今回取り上げた製品のほとんどが、LAS VEGAS CONVENTION CENTERではなく、SANDS EXPO and CONVENTION CENTERの2階に出展されていた。筆者の個人的な興味からすると、このSANDS EXPOの2階会場が最も「怪しい」ものが多く集まっており、楽しかった。

ちなみに、「ムフフ」のCD-ROMの展示即売店も、同じくSANDS EXPO会場の1階にあったことをつけ加えておく。



パームトップ・コンピュータ関連

最近、本誌上でも「謎のパームトップ機」日本語化計画なる特集が組まれたが、筆者もパームトップを使用して原稿を作成しているため、この手の製品には興味がある。そこで、まず、COMDEX会場で見かけたパームトップ機についてご報告する。

とはいうものの、「さすがはPC WAVE」というべきか「よくやるよ」とみるべきか、ほとんどの製品がすでに本誌上で紹介されたものであった……。

PROLINEAR CORPORATION

・PalmBook386PALMTOP PC

写真①は、日本でもよく見かけるPROLINEAR社



①PROLINEAR社のパームトップ機

のPalmBook386である(もともと、写真に写っている機種にはSHARPER IMAGE386PALMTOP PCと書かれていたが……)。日本では有名な製品なので、すでに使用している方も多いことだろう。

このパームトップは、CPUに386SX-25MHzを使用し、LCD画面は7.5インチの640×200CGAである。PCMCIA ICカードソケットを2基内蔵しているので、拡張性が高い。

キーボードはQWERTY配列の82で、タッチタイプが可能な限界の大きさである。単三乾電池4本で駆動し、バッテリー込みの重量は710gである。

筆者もこれと同類のパームトップであるTidalwave社製ME-386パームトップ機に、5MBのSun Disk CardとMegahertz社のXJACKを入れて、原稿作成に使用している(写真②)。

◎連絡先: PROLINEAR CORPORATION

TEL800-759-0881

818-821-1881

FAX818-821-1879



②



③

②筆者愛用のTidalwave社製ME-386と5MBのSun Disk Card、Megahertz社のXJACK

③INSTANT-TECH社製パームトップ機「PTV-30」



④ INSTANT-TECH社製パームトップ機「PTP-20」



INSTANT-TECH

・PTV-30/PTP-20

これも本誌上で紹介された香港製パームトップPCである。

PTV-30(写真③)は、CPUにV30HL-7MHzを使用したタイプで、PCMCIA ICカードソケットを2基搭載している。ディスプレイは640×200のCGAで、キーボードはタッチタイプが可能な82キーである。単三乾電池2本で駆動し、重量は600g(電池込み)となっている。

一方、PTP-20(写真④)は、CPUにV20-14MHzを使用しており、キーボードもPTV-30と異なりHP-100 LXのようなボタンタイプなので、タッチタイプには無理がある。PCMCIAスロットも1基に削減されている。

バッテリーは単三乾電池2本を使用するが、重量は350g(電池込み)と軽量化が図られている。

◎連絡先：GSL(GROUP SENSE LIMITED)

27/F., Wu Chung House, 213 Queen's Road East, Wanchai, Hong Kong.

TEL852-832-8228

FAX852-892-0361



⑤ WISO ELECTRONICSのパームトップ機「PC-7200」

WISO ELECTRONICS

・PC-7200/PC-7000

写真⑤は、CPUにF8680を使用したパームトップコンピュータである。

PCMCIAスロットを1基搭載し、ディスプレイは640

◎表1 PC-7200の周辺機器

Mini Hard Disk Adapter	120MB	HD-812A
	512MB	HD-500A
PCMCIA IC Card Reader/Writer		IC-300
I/R Transceiver Adapter		IR-800
900MHz TV Transmitter		TV-900T
Receiver		TV-900R
Parallel Cable	80cm	PT-80
Serial Cable	80cm	ST-80
Power Adapter		
110V AC to8V DC(300mA)		PA-118
220V AC to8V DC(300mA)		PA-228

×200のCGAである。乾電池2本で駆動し、電池込みの重量は500gとなっている。86キーのキーボードなので、タッチタイプが可能だ。

PC-7200では、外部HDDや赤外線インターフェイスなどのオプションを付けることができるが、PC-7000ではこれらのオプション機能が使用できない構成になっている。外付けHDDは、容量が120MBのものと512MBのものを選択できる。

この製品の周辺機器は豊富である。表1にその一覧を示す。

◎連絡先：WISO ELECTRONICS CO., LTD.

P.O. Box 1-192 Taipei, Taiwan, R.O.C. 9 F-5, 230, Hsin-Yi Rd., Sec. 2, Taipei

TEL886-2-393-6147

FAX886-2-393-1469

PSION

・SERIES3a/Flying Docker

PC WAVEに紹介されて以来、急に注目を集めるようになったPSION(サイアン)のSERIES 3 aは、独自ア

⑥ PSION SERIES 3 a(左端)

⑦ Flying Dockerを装着したところ



一キテクチャーのパームトップで、いわゆるPC互換機ではない(写真⑥)。

CPUにはV30Hを使用しており、キーの数は58である。LCDの解像度は480×160、単三乾電池2本で駆動し、本体重量は275gと非常に軽量だ。ICカードスロットはPCMCIAではなく、独自規格のものを2つ内蔵している(これをSSD: Solid State Diskと呼んでいる)。

今回、このPSIONに接続するFlying Dockerという製品が^⑦展覧されていた(写真⑦)。このFlying Dockerは、Motorola Radio Modemを搭載した移動通信アダプタである。いわゆるPSIONに携帯電話機能を持たせるための装置だ。PSION本体も非常に小さくて軽いが、このFlying Dockerもとてもコンパクトにできている。

電源は、ACアダプタと内蔵充電式電池の両方が使用できる。

◎連絡先: PSION

555 Virginia Rd. Budg 5. Concord, MA 01742
TEL508-371-0310

Lexicomp

・LC-8620/LC-8600Palmtop PC

写真⑧は、日本ではMovingPocketの名前で売り出されている台湾Lexicomp社のパームトップPC「LC-8620」である。

このパソコンは、本体内に40MBのHDD「キティホーク」とFax/モデムを内蔵しているのが特徴だ。会場ではWindows Ver3.0を入れてデモをしていた(写真⑨)。

この製品は、英語版のほかに、中文版とハングル版がすでにできている(写真⑩)。日本語化はどうかを尋ねたところ、日本でよく使用するエディタなどのアプリ



ケーションにはなにかがあるか、逆に質問されてしまった。

LC-8600は、HDDが搭載されていないモデルである。

キーボード・マウス関連

キーボードに目がない筆者は「変なキーボード」がないかどうかをチェックしてきたが、今回は、キーボード本体が左右に分離するタイプのものが多く見られた。

以下、キーボードとマウスについてのご報告である。

FOCUS ELECTRONIC CORP.

・FK-7200S(Win Trac)

FK-7200Sは、スペースバーの中央部にトラックボールが付いたキーボードである(写真⑪)。

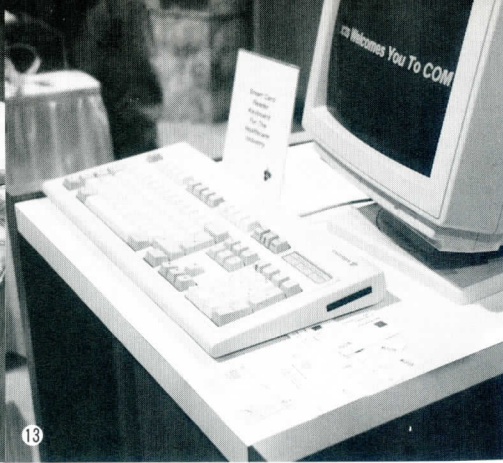
以前にもトラックボール付きのキーボードはあったが、スペースバー部分に取り付けたのは目新しい。キーボード前部には、取り外し可能なパームレストも付属する。なかなか使い勝手がよさそうだ。

◎連絡先: FOCUS ELECTRONIC CORP.

21078 Commerce Pointe Drive, Walnut, California 91789



⑧Lexicomp社製パームトップ機「LC-8620Palmtop PC」 ⑨「LC-8620」上で動作するWindows3.0
⑩Lexicomp社製パームトップ機「LC-8620」。左が中文版、右がハングル版



- ① FOCUS ELECTRONIC社製「FK-7200S(Win Trac)」(カタログより)
- ② CHERRY Electrical社製 G80-5000「Ergo Plus Keyboard」
- ③ CHERRY Electrical社製 G80-1500「Smart Card Reader Keyboard」

TEL (909) 468-5533
FAX (909) 468-5525

CHERRY Electrical Products

- G80-5000 Ergo Plus Keyboard
- G80-1500 Keyboard

G80-5000は、本体中央から左右に分離するタイプのキーボードである(写真⑫)。

左右の分離角度は任意に調整可能で、オプションとしてテンキーパッドも付いている。キーボード前部のパームレストの曲線がなかなかいい味を出しており、気に入ってしまった。

G80-1500(写真⑬)は、本体側面にカードリーダー(Smartcard Interface)が付いたキーボードである。

◎連絡先: Cherry Electrical Products

3600 Sunset Avenue Waukegan, Illinois USA-
60087-3298

TEL 708-662-9200

FAX 708-662-2990

SEJIN ELECTRIC INC.

- WIRELESS MINI KEYBOARD
MODEL SPR-8630W-HYU

- Power Remote

SEJIN社は、本誌1月号の「Funky Goods in Korea」で紹介したが、韓国のキーボード、マウスメーカーである。このメーカーの超薄型キーボードについてはすでにご紹介済みだが、これはそのワイヤレス版である(写真⑭)。

キーボード前部中央に赤外線発光部があり、そこから出力された信号をタバコの箱くらいの大きさの受光部で受ける。

Power Remoteと呼ばれるキーパッドは、マルチメディアパソコンのリモートコントローラである(写真⑮)。

マウス、テンキー機能のほかにも、音量コントロールキーやCD-ROMコントロールキーが付いている。これ1台で、サウンドカード、ビデオキャプチャーカード、TVチューナー、CD-ROMドライブを制御することが可能となっている。

◎連絡先: SEJIN ELECTRIC INC.

60-19, GARIBONG-DONG, GURO-KU,
SEOUL, KOREA 152-020

TEL 02-866-3333

FAX 02-864-3375



PowerRemote



⑭ SEJIN ELECTRIC社製 WIRELESS MINI KEYBOARD MODEL SPR-8630W-HYU

⑮ SEJIN ELECTRIC社製 Power Remote キーパッド(カタログより)



⑯ IBM「Adjustable Keyboard」

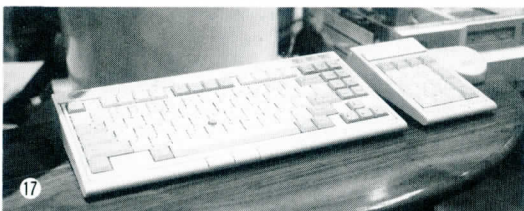
IBM

・Ajustable Keyboard

写真⑩は、IBMブースで見かけた、中央から2つに分離するタイプのキーボードである。

このほかにも、ポインティングデバイスとしてAcc Pointを装備した小型キーボード(写真⑪)が展示されていたが、これは非常にコンパクトで、操作性もよさそうである。キーボード本体にはテンキーが付かないので、テンキーパッドも用意されている。

IBMブースではマザーボードや拡張カードといった部品も展示しており、なかなか面白かった(写真⑬、⑭)。



⑩Felix社製The Better Mouse
 ⑪TALKING MOUSE社THE HAND HELD MOUSE(右)と
 THE ECONOMY TALKING MOUSE(左)

上に配置されている。Microsoft Mouseとコンパチブルで、DOS、WindowsおよびOS/2に対応している。

これとは別に、マッキントッシュ用のバージョンも用意されている。

◎連絡先：Felix

ALTRA, 520 West Cedar St., Rawlins,
 Wyoming82301
 TEL307-328-1342
 FAX307-328-1346

TALKING MOUSE

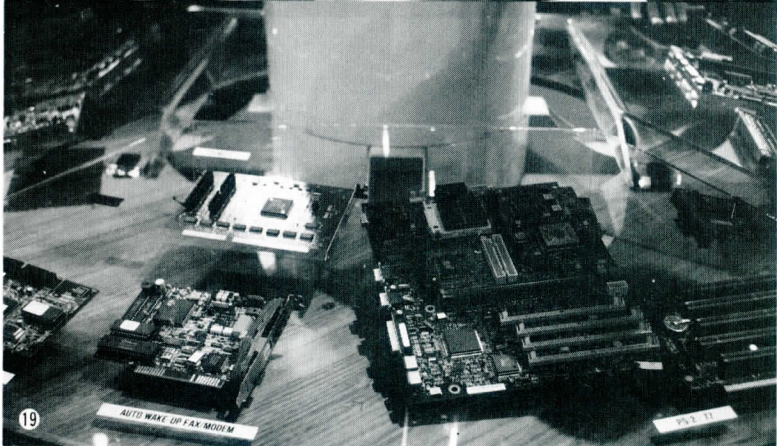
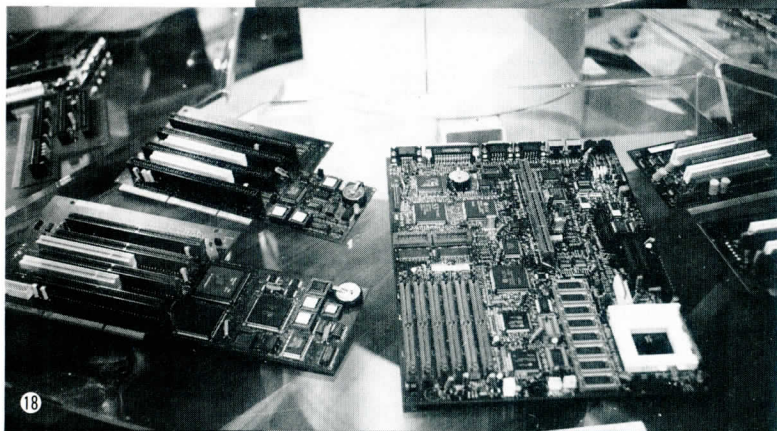
・TALKING MOUSE

写真⑫は、TALKING MOUSE社のマイク、スピーカー付きマウスである。

写真右上は、THE HAND HELD MOUSEと呼ばれるタイプのもので、マイクロフォン、スピーカー、トラックボール、ボリュームコントロールがひとつになった製品である。

写真左下は、THE ECONOMY TALKING MOUSEというタイプのもので、普通のマウスにマイクロフォンとイヤフォンソケットおよびボリュームコントロールが内蔵されたものである。

このほかにも、マイクロフォンのみ内蔵したタイプな



⑬AccPointを搭載したIBMの小型キーボード ⑭IBMブース内のカード類の展示
 ⑮同じくカード類の展示

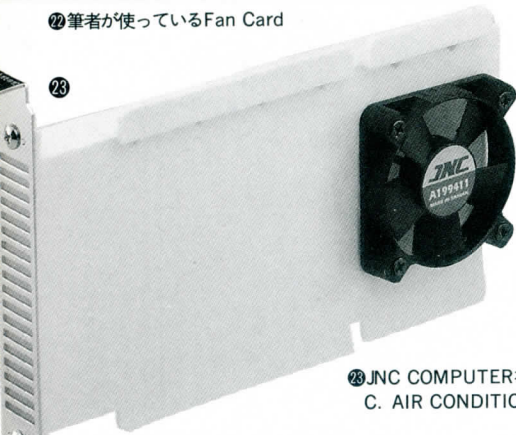
Felix

・The Better Mouse

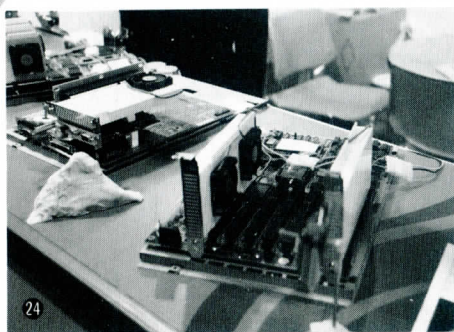
写真⑯は、Felix社の省スペースマウスである。1インチ四方のエリア内でつまみを動かすことによって、マウスポインタを移動させる。クリックボタンはつまみの



22 筆者が使っている Fan Card



23 JNC COMPUTER社の P.C. AIR CONDITIONER



24 P.C. AIR CONDITIONER の展示風景

ど、全部で 5 種類の製品がラインナップされている。

◎連絡先：TALKING MOUSE

2530 CORPORATE PLACE #A-100
MONTEREY PARK, CA 91754
TEL213-780-7978
FAX213-780-7984

その他もろもろ

JNC COMPUTER CORP.

・P.C. AIR CONDITIONER

以前、Fan Card(写真22)という「変な商品」を紹介したことがあったが、これはその上をいく傑作である。商品名をP.C. AIR CONDITIONERという(写真23)。その名のとおり、ケース内を冷却するためのカードである。

カードそのものがダクトとなっており、ケース背面のスロットが送風口の役割を果たす。このカードを、空いているバス・スロットに挿入すればよい。

ファンの電源はバス・スロットから供給するのではなく、専用の電源コネクタから供給するようになっている。以前紹介したFan Cardは、電源をバス・スロットから

取るため、マザーボード内の電源ラインに負荷をかけてしまう危険があったが、このカードではそういった問題はない。なかなかユニークな発想の製品であり、筆者はこういったグッズが大好きである(写真24)。

◎連絡先：JNC COMPUTER CORP.

NO. 47, CHING-LO STREET, TU-CHENG
CITY, TAIPEI, TAIWAN, R.O.C.
TEL886-2-263-2276
FAX886-2-262-0014

AMERICAN INSIGHT

・AAPOGEE CD5000

ノートパソコンでCD-ROMを利用する場合には、ドッキングステーションを付けるのが一般的であるが、最近ではCD-ROMドライブ一体型のノートパソコンが登場してきた。写真25も、AMERICAN INSIGHT社のCD-ROMドライブ一体型のノートパソコンである。

CD-ROMドライブはキーボードの下に配置され、CD-ROMを入れるときはキーボードごと持ち上げるという、大胆な構成になっている。

内蔵CD-ROMドライブは、フィリップス社製の倍速ドライブである。CPUにはintel社製486DX2-66MHz DX4-100MHzが用いられており、ポインティングデバイスとしてVersa Pointを内蔵している。マルチメディア対応ノートパソコンなので、16ビットのサウンドブラスターコンパチの音源も内蔵している。

CD-ROMを入れるとき、キーボード部分をガパーツと持ち上げるメカに感心してしまった。

◎連絡先：AMERICAN INSIGHT

600 Monterey Pass Rd., Monterey Park
CA 91754
TEL818-300-8116
FAX818-300-0981



25 AMERICAN INSIGHT社のAAPOGEE CD5000ノートパソコン



Evergreen Technologies

- 486 Personal Computer Upgrade Product
- REV TO SMP (Symmetric Multi Processor)

このEvergreen Technologiesという会社はCPUのアップグレード専門の会社のように、さまざまなアクセラレータを出展していた(写真26)。そのなかでも特に目に付いたのが、REV TO SMPという、486CPUを2個使用したアップグレードキットである(写真27)。

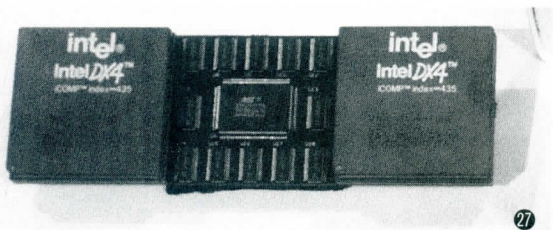
この製品を486CPUのソケットに取り付けることによって486を2個使用したSymmetric Multi Processor(SMP)システムにアップグレードでき、マルチスレッドアプリケーションのパフォーマンスをアップさせることができる——といったものである。

現在のところ、OS/2とWindows NTとに対応している。2次キャッシュはCPU1個につき、それぞれ256Kバイト用意されている。

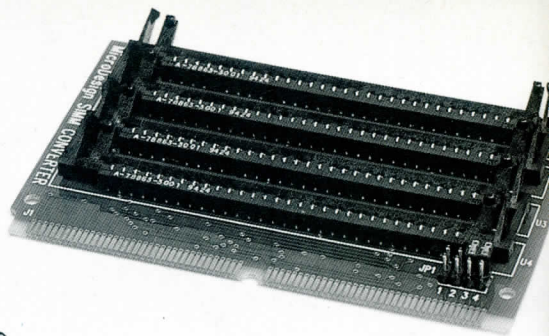
実際のデモンストレーションは行っていなかったの、どの程度のパフォーマンスアップになるかはわから



26 Evergreen Technologiesの486 Personal Computer Upgrade Product 展示風景



27 REV TO SMP (Symmetric Multi Processor)



28

なかった。しかし、これだけ大きな基板を取り付けるスペースが、マザーボード上に確保できるかどうかのほうか問題であるような気がする。

◎連絡先: Evergreen Technologies
915 NW Eighth Street Corvallis,
OR 97330-6211 USA
TEL503-757-0934
FAX503-757-7350

Simm Saver Technology Inc.

- PC SimmSaver Adapters

72ピンのSIMMを使用するマザーボードが出現したとき、巷では30ピンSIMM4枚を72ピンSIMMに変換するアダプタが発売された(写真28)。しかし、SIMM変換アダプタにこんなに種類があるとは思わなかった(写真29)。

Simm Saver Technologyという会社はSIMM変換アダプタの専門メーカーだが、SIMMの容量とピン数、実装する際の形状によって、実に14種類もの変換アダプタを発売している。

主だったタイプは表2のとおりで、それぞれのタイプで、実装する形状によりさらに数種類が存在する。もちろん、IBM用SIMMのほかにも、Mac用のSIMMにも対応している。

これだけ多くのアダプタを用意していれば、ほとんどできないことはないように思われる。たかがSIMM変換アダプタと侮ることなかれ。奥が深いものなのだ。

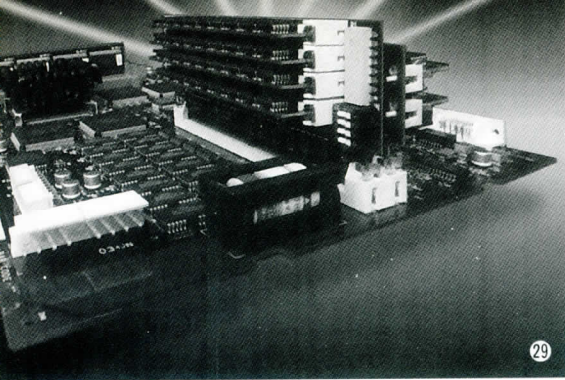
◎連絡先: Simm Saver Technology Inc.
228 N. PENNSYLVANNIA WICHITA,
KANSAS67214 USA
TEL316-264-2244
FAX316-264-4445

SYN ELECTRONICS CO., LTD.

- SH-001 SERIES CPU COOLERS

SYN ELECTRONICSはCPUクーラーの専門メーカーのように、薄さを売りものにしたクーラーを多数展示していた(写真30)。486CPU用から90/100MHz Pentium用まで各種揃えており、ファンの厚さは10.5mm~15mmと、どれも非常に薄型だ。

これとは別なCPUクーラー専門会社のブースで、取



28 筆者が秋葉原で購入したSIMM変換アダプタ
29 Simm Saver Technology社のPC SimmSaver Adapters



◎表2 Simm Saver Technology社のSIMM変換アダプタ

Simmsaver/30	4枚の30ピンSIMMを1枚の30ピンSIMMに変換する
Simmsaver/8	4枚の30ピンSIMMを1枚の72ピンSIMMに変換する
Simmsaver/8-2	8枚の30ピンSIMMを1枚の72ピンSIMMに変換する
Simmsaver/32	1個の72ピンSIMMソケットに2枚の72SIMMを装着する

り付けが大変簡単な製品を見かけた(写真30)。この製品は秋葉原でも入手することが可能なようで、A-MASTERで同製品を見かけたことがある。価格は3000円だった。

写真は90MHz Pentium用のものだが、CPUに枠を付けてソケットに実装し、ファンはあとから枠にネジ留めする。

CPUクーラーにも、さまざまなアイデアが盛り込まれているものである。

◎連絡先: SYN ELECTRONICS CO., LTD.

3 F, No 4, Alley11, Lane327, Sec. 2, Chung-Shan Rd., Chung-Ho City, Taipei Hsien, Taiwan, R.O.C.

TEL886-2-245-1145/8

FAX886-2-240-1174

HIGH ABILITY COMPUTER CO., LTD. (HACO)

・THE BLACK KNIGHT ALL-IN-ONE COMPUTER

写真32は、「黒騎士」の名称を持つマルチメディアパソコンである。

パソコン本体は、486CPUのローカルバスタイプのもので、これに10インチのトリニオン管が付いている。さらに、倍速CD-ROMドライブ、TVチューナー、



30

15Wのオーディオアンプ、スピーカ、カラオケ機能、9600bpsのFAX/モデムが内蔵されており、これ1台で家庭でマルチメディア環境を得ることができる。

モニタの解像度は、1024×768(i)である。もちろん、リモコンも付属している。オプションとして、MPEGデコーダボードも用意されている。

「黒騎士」という名前が示すとおり、本体はもとより、キーボードからマウスまで全身真っ黒で、かなりアクが強い製品である。

このほかにもモニター一体型のマルチメディアパソコンが多数展示されていたが、変な格好をしていたのが写真33の製品である。メーカー名は調査してこなかったが、パソコンというよりも携帯型測定器のような印象を与える。キーボード部分が前面のパネルになっているのもユニークだ。

この製品はCD-ROMドライブを内蔵しており、フルスクリーンでMPEGの再生デモを行っていた。

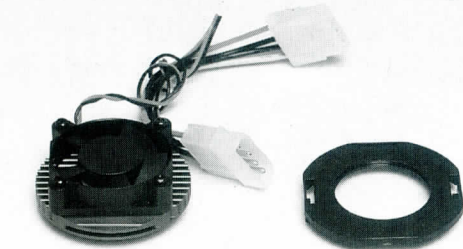


32

33 携帯型測定器のようなマルチメディアパソコン
HIGH ABILITY COMPUTER社製マルチメディアパソコン「黒騎士」



33



31

30 SYN ELECTRONICS社のSH-001シリーズCPUクーラー

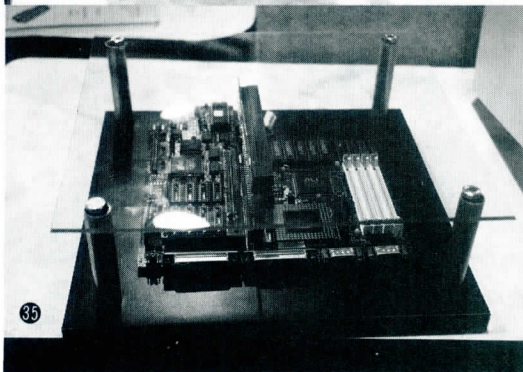
31 取り付けが簡単なPentium90/100MHz用CPUクーラー

◎連絡先：HIGH ABILITY COMPUTER CO., LTD.(HACO)
 NO.45 WU-KUNG 6 RD.,
 WU-KU INDUSTRY PARK,
 TAIPEI HSIEN, TAIWAN R.O.C
 TEL886-2-298-8205
 FAX886-2-298-8514

Trans 2000 Inc.

・All-in-one Monitor-PC Pisces

こちらもモニター一体型のパソコンである(写真③④)。ただし、マルチメディア対応の製品ではないので、TVチューナーなどの機能は入っていない。



③Trans2000Inc.の一体型パソコン「Pisces」
 ④「Pisces」が使用しているマザーボード

CPUは486SLC-25MHzから486DX2-66MHzの間で選択することができ、モニタも10インチカラーモニタと白黒モニタを選ぶことができる。

写真⑤はその内部基板だが、制御部にALIのワンチップコントローラを使用しており、非常にシンプルだ。また、この手の小型パソコンとしては珍しく、256KBの2次キャッシュメモリも付いている。

◎連絡先：Trans 2000 Inc.

11558 E. Washington Blvd. Suite A Whittier,
 California90606
 TEL310-908-6814
 FAX310-908-6819



⑥FLYTECH GROUPの展示風景
 ⑦FLYTECH GROUPのPentium搭載超小型マシン「FT-4501-90」

FLYTECH GROUP INTERNATIONAL

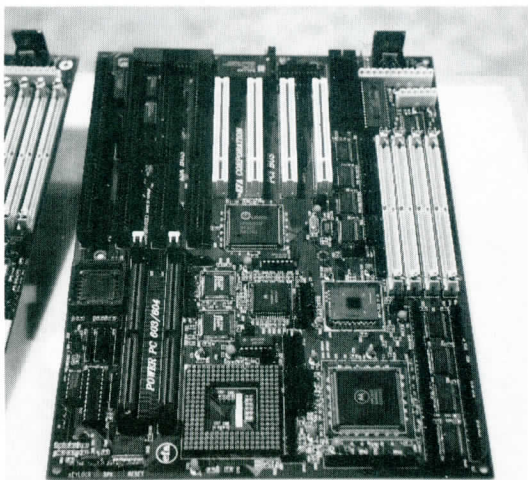
- ・FT-2000 SERIES
- ・FT-4501-90

FLYTECHは、超小型デスクトップパソコンを専門に取り扱っている(写真⑥)。

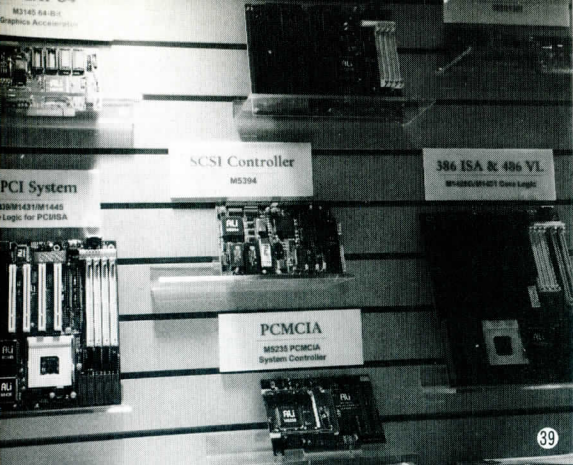
FT-2000シリーズには、80286-16MHzから80486DX2-66MHzまで8種類のモデルが用意されている。

FT-4501-90はCPUにPentium90MHzを採用したもので(写真⑦)、ケースの大きさは300mm(W)×300mm(D)×90mm(H)と大変コンパクトだ。拡張スロットが2本用意されている。

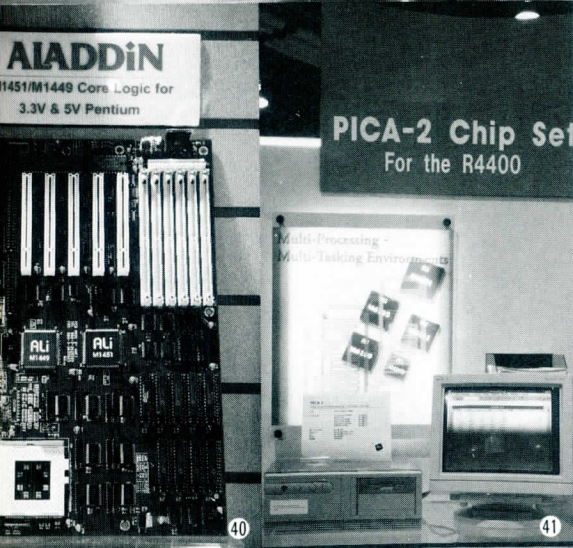
このほか、オプションとして、モノクロ/カラーモニ



⑧EFA社のPOWER PC603搭載マザーボード



39



41

- 39 ALIブースの展示風景
- 40 ALI ALADDIN M1451、M1449を使用したマザーボード
- 41 PICA 2 チップセットを使用したR4400-75MHz CPUマシンのデモ

タ、小型キーボードもある。大きさが大ききなので、拡張性はあまりないが、置き場所を選ばなくてすむのはなかなかよい。

◎連絡先：FLYTECH GROUP INTERNATIONAL
2 FL. NO. 8, LANE50, SEC. 3, NAN-KANG RD., TAIPEI, TAIWAN, R.O.C.
TEL02-785-2556
FAX02-785-2371, 783-7970

EFA CORPORATION
・POWER PC 603/604 MOTHER BOARD
台湾のマザーボードメーカーEFA社では、POWER PC603を使用したマザーボードを参考出品していた(写真38)。

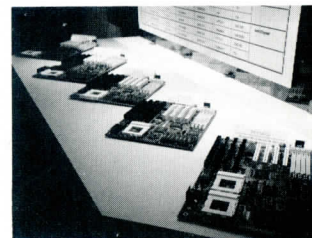
ISAバス3本、PCIバス4本の構成で、ボード上にプラスチックQFPのPOWER PC603が搭載されている。SIMMソケットは4本で、ISAバスの横にあるソケットは、おそらくキャッシュメモリを実装するためのものと思われる。基板上には、UMC(コラム参照)のUM8886AFやモトローラのMC88PL117などのチップも見受けられた。

◎表3 EFA社が出展していたマザーボード

486VIP-CP 4	80486DX4/100MHz対応、ISA×4、VL×2、PCI×4、72ピンSIMMソケット4本のマザーボード。チップセットには、82C599と82C596を使用している。キャッシュサイズは1Mバイトまで拡張できる。
ECA 4 M50-HL 3 G	80486DX 2 対応、ISA×8、VL×3、72ピンSIMMソケット4本のマザーボード。2次キャッシュは1Mバイトまで拡張可能。SIS471シングルチップ使用。GREEN PC対応製品。
ECA 4 M50-HL 3 S	80486DX 2 対応、ISA×8、VL×3、72ピンSIMMソケット2本、30ピンSIMMソケット4本搭載のマザーボード。UMCチップセットを使用。GREEN PC対応製品。
型番不明	Pentium90/100MHz対応、ISA×4、PCI×4、72ピンSIMMソケット4本搭載、SISチップセット使用のマザーボード(写真参照)。
同じく型番不明	80486DX 2 対応、ISA×4、PCI×4、72ピンSIMMソケット6本搭載、intelチップセット使用のマザーボード。

出荷時期は、95年第1四半期とのことであった。
同社のブースでは、このほかにも表3のようなマザーボードを出展していた。

◎連絡先：EFA CORPORATION
Suite 4, 6 F, No.57, Fu-Shing N. Road.Taipei, Taiwan, R.O.C.
TEL86-2-750-6611
FAX886-2-752-4260



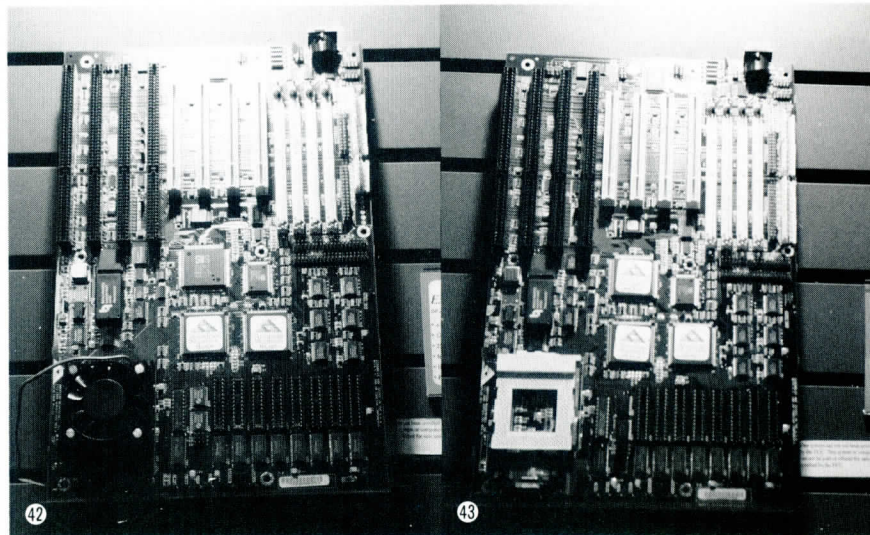
▲型番不明のEFA Pentium90/100MHz対応PCIマザー

ALI(Acer Labs)
・各種マザーボード

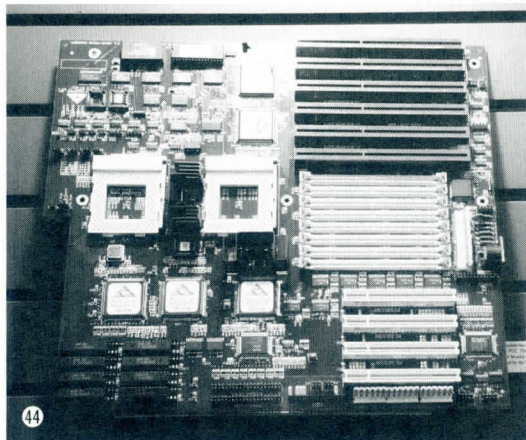
ALIでは、各種チップセットを使用したマザーボードの展示とデモを行っていた(写真39)。

写真40は、Pentium用コアロジックチップセット、ALADDIN M1451、M1449を使用したPentium90/100MHz対応のマザーボードで、ISAバス3本、PCIスロット5本を搭載しており、6本のSIMMソケットを持つ。このM1451、M1449チップセットは、5V系Pentium(60/66MHz)と3.3V系Pentium(90/100MHz)の両方に対応している。

写真41は、PICA 2 チップセットを使用したR4400-75



42 AMI社製Excalibur PCIIマザーボード
43 AMI社製Atlas PCIマザーボード



④① AMI社製Titan II マザーボード

MHz CPUマシンのデモである。PICA 2 チップセットは、RISC CPUであるR4400とR4600とに対応している。

PICA 2 チップセットの内容は、以下のとおり。

L 2 CACHE Controller	ALI M6201
Buffer Chip	ALI M6203
Memory CONTROLLER	ALI M6105
Memory Data Path	ALI M6107
I/O Cache Controller	ALI M6109
128K I/O Cache	ALI M6111

AMI(America Megatrends)

・Excalibur PCI II、Atlas PCIほか

BIOSメーカーのAMIでは、BIOS画面をマウスで操作して設定できるWINBIOSのデモのほかに、マザーボードの展示も行っていた。このへんのマザーボードは結構有名なので、ご存じの方も多いただろう。

写真④②は、60/66MHz Pentium用ISA/PCIマザーボード「Excalibur PCI II」である。ISAバス 4本、PCIバス 4本を搭載する。72ピン SIMMメモリのソケット



④⑤ Copper Leaf Technology社の展示



は4本である。当然、BIOSの設定にはWINBIOSを使用している。

FDD I/FおよびPCI IDE HDD I/Fもオンボードで搭載している。HDD I/Fは合計4台までのIDEをコントロールでき、Fast ATA仕様を満たしている。

写真④③は、90/100MHz Pentium用ISA/PCIマザーボード「Atlas PCI」である。基本的な構成はExcalibur PCI IIと同じである。

写真④④は、90/100MHz Dual Pentium対応EISA/PCIマザーボード「Titan II」である。ボードは標準ATサイズで、かなり大きい。EISAバスを6本、PCIバスを4本搭載し、72ピン SIMMソケットを8本搭載する。また、オンボードIDE I/FとFDD I/Fを内蔵している。

Copper Leaf Technology Inc.

・GALAXY Motherboard

写真④⑥は、アメリカCopper Leaf Technology社のブースである。

マザーボードの展示即売を行っており、Pentium90/100MHz CPU対応、ISA×5(そのうちVL×2)、PCI×4、72ピンSIMMソケット4本のマザーボードが\$199ドルだった。なお、チップセットはOPTiで、256KBの2次キャッシュを搭載している。

このほかに、i80486用、ISA×8(うちVL×2)、SIMMソケット8本、2次キャッシュ256KBのマザーボードが\$88ドルで販売されていた。

◎連絡先：Copper Leaf Technology Inc.

2233 Paragon Drive, San Jose, CA 95131
TEL408-452-9288
FAX408-452-9299

Young Micro Systems

・VEGA P54C-EDP Mother Board

写真④⑦は、アメリカの会社であるYoung Micro Systems社のDual Pentium90/100MHz対応マザーボードである。EISA×4本、PCI×4本、72ピンSIMM



ソケット 8 本という、絢爛豪華な構成だ。

チップセットにはintel社Neptuneを使用しており、AMI社のフラッシュWINBIOSを搭載している。2次キャッシュは標準で256KB、オプションで512KBまで拡張できる。

◎連絡先：Young Micro Systems

13825 Cerritos Corporate Drive, # A, Cerritos,
CA 90703-2456
TEL 310-802-8899
FAX 310-802-8889include

SILICON AVENUE INC.

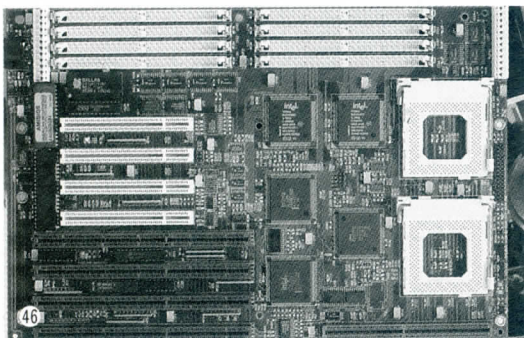
・CASE LOGOS

台湾などにはケースに貼り付けるロゴ専門メーカーというのがあり、オリジナルなロゴもつくってくれるようであるが、今回もそのような会社が出展していた。ただし、アメリカの会社である。

SILICON AVENUE INC.では、写真④のような、ケースに添付するためのロゴを専門につくっている。価格は、10枚までは1ドル/枚、100枚で0.70ドル/枚である。もちろん、カスタムロゴの制作も行っている。

この会社では、ロゴのほかにも、互換機製作時に使用するナイロンスペーサやインチネジなどをパックしたBAG OF HARDWAREという製品も販売している。

筆者はこのロゴをおみやげとして配ったが、「趣味が悪い」という人と「こりゃあ、いい」という人とで、評価はまっぴたつに分かれてしまった。



④Young Micro社のDual Pentium90/100MHz対応マザー

◎UMCとSISのチップセット

UMCは、台湾のチップセットメーカーである。以下に、その主なチップセット名を示す。

- *UM8891F/N
HOST BRIDGE 208pin QFP/TQFP
- *UM8892F/N
DATA PATH 208pin QFP/TQFP
- *UM8886F/N
ISA BRIDGE, PCI IDE 208pin QFP/TQFP
- *UM8673F
PCI IDE 100pin QFP
- *UM8663/8F
SUPER I/O 100pin QFP
- *UM8667F
SUPER I/O 48pin SSOP
- *UM8365F
PCMCIA 144/160pin QFP/TQFP
- *UM8366F
PCMCIA BUFFER 100pin QFP/TQFP

余談だが、UMCではintel486SX-33MHzとコンパチブルのCPUをつくっている。UMC U 5 S GREEN CPU U 5 S-Super33と呼ばれるこの製品は、日本の雑誌でも広告が掲載されたので、ご存じの方も多と思われる。パフォーマンスアップと省エネルギーが特徴だろう。

このチップの表面に、「Not for U.S. sale or import」と印字されているのが気に入ったので、今度、台湾出張に行く知人に購入を依頼しておいた。

ついでといっちはなんだが、やはりチップセットメーカーのSISのラインナップを以下に示しておく。

- *85C501/85C502/85C50
Pentium/P54C ISA-PCI Chipset
System/Cache/Memory/PCI/ISA Bridge PMU
Controller
- *85C496/85C497
486PCI Chipset
System/Cache/Memory/PCI/ISA Bridge PMU
Controller
- *85C471
486ISA-VESA Single Chip Solutions
486SX/DX/DX2/DX4/SL Enhanced,
P24T, P24D, Cx486S 2 (M 6, M 7),
AMD DX/DX2/DXL 2
- *86C201
PCI VGA Graphics Accelerators
32Bit Engine with External Clock Synthesizer
- *83C601
IDE Controller
- *83C611
IDE-VL Controller
- *85C407
Buffer Chip for ISA-VESA486Single Chip with
Integrated RTC
- *85C411V
486 EISA-VESA Chipset
System/Cache/Memory Controller
- *85C420V
486 EISA-VESA Bus Controller
- *85C406
486 EISA-VESA



④SILICON AVENUE INC.のケースロゴ。お洒落とみるか、それとも……

